

第四次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和6年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和5年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
【施策1】家庭における子どもの読書活動の推進					
1	家庭・地域学びの課	おひざで絵本事業の推進・充実	・おひざで絵本事業実施状況 R5:配付人数2,161人、配付率92.7%	・7～8か月児健康教室に参加できず、かつ市への連絡がない家庭に対して、事業の存在や読み聞かせの意義を周知していく。	・ICTの活用および子育て世帯を対象としたイベント等の実施により、事業の周知を行っていく。
2	家庭・地域学びの課 市立図書館	ブックリストの作成・配布、ホームページ等での紹介	【長野図書館】 ・子ども向けおすすめの本紹介冊子配布。R5.4月「はじめる1冊。」10月「むかしむかしの本」 ・年齢別おすすめの本リスト配布。 (0～2歳、3～5歳、小学校低学年、中学年、高学年) 【南部図書館】 ・7月なつやすみこども会:児童向けおすすめ本リスト作成配布 ・10月図書館まつり:一般向けおすすめ本リスト作成配布 ・通年:0～3歳向、幼児向、小学校低学年向、小学校高学年向作成配布 【家庭・地域学びの課】 ・7～8か月児健康教室における「お薦め絵本リスト」配付実績	【長野図書館】 ・春・秋の読書週間に合わせて、職員全員によるおすすめ本の冊子を作成し、館内で配布している。 ・年齢別おすすめ本やテーマ本などをホームページで貸出状況を確認できる形式で紹介している。 【南部図書館】 ・図書館イベント開催時を中心におすすめ本リスト提供を通じて、読書の楽しさや重要性を伝えている。 【家庭・地域学びの課】 ・おひざで絵本事業で配付している絵本を含めたブックリストを作成し、絵本と一緒に配布、ホームページに掲載している。	・今後も子どもや子どもをとりまく大人の興味をひくようなテーマを考え、継続して実施する。
3	家庭・地域学びの課	長野市家庭の日における読書の奨励	・「長野市家庭の日」(毎月第3日曜日)とその直前の金曜日に、有線放送による啓発を実施。家族みんなが読書に親しみ、読後の感想などを話題にするよう勧めた。	・有線放送に加入していない家庭が多く、全体として浸透不足となっている。	・有線放送だけでなく、10月に開催する青少年健全育成フェスバルを通して、長野市家庭の日の児童や保護者に対して読書の奨励に努めていく。
4	家庭・地域学びの課 健康課	出生届出の際に配布する「赤ちゃんのしおり」で親子読書の勧めを掲載	【家庭・地域学びの課】 ・「7～8か月児健康教室 おひざで絵本事業 絵本引換券」の裏面を活用し、親子読書の勧めを掲載した。 【健康課】 ・全ての出生児の保護者へ配布	【家庭・地域学びの課】 ・親子読書の勧め掲載内容を協議調整している。 【健康課】 ・絵本引換券の裏面に親子読書の勧めを掲載しているため、全ての保護者が情報を享受できる環境が整えられている。	・今後も引き続き、親子読書の勧めを掲載し、読書活動の啓発を図る。
5	家庭・地域学びの課	五感を通して書籍に親しむイベント等の開催	・親子わくわくフェスタ内で読書推薦イベントを企画・実施した。	・言葉と身体を使い表現活動を通して絵本の世界を楽しむ「みんなで遊ぼう！絵本の世界」を実施した。	・毎年企画を考えイベントの実施を継続する。
6	家庭・地域学びの課 健康課	健康教室での読み聞かせの実施や絵本の紹介	・実施した全ての7～8か月児健康教室で読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、絵本の紹介を実施 ・「お薦め絵本リスト」の7～8か月児健康教室における配布実績R5:配布人数2,161人	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、R2年度～R4年度は読み聞かせを中止していたが、R5.5月より再開した。 ・R5.12に読み聞かせボランティアより、次年度以降、健康教室での読み聞かせボランティアを辞退する旨の申し出があり、R6.4より健康教室での読み聞かせは廃止し、フォローアップの場として市立図書館で実施している「おはなし会」を案内している	・今後も引き続き、絵本の見本展示やチラシ配布により、絵本紹介を行う。 ・絵本を配付するだけでなく本の楽しさや読書の重要性を伝えるため方法を検討していく。
7	家庭・地域学びの課 健康課	母子健康手帳交付時において、妊産婦や保護者へ子どもの読書活動を推進するためのパンフレット等を配布	・母子健康手帳の交付対象者全員へ配布	・母子健康手帳交付時に配布するチラシが多数あるため、より訴求効果が高い方法を検討する必要がある。	・引き続き母子健康手帳交付時のパンフレット配布を実施するとともに、より効果的な啓発方法を検討する。
【施策2】教育・保育施設等における子どもの読書活動の推進					
8	保育・幼稚園課	保育士・幼稚園教諭等職員及びボランティアによる読み聞かせの実施	・職員による読み聞かせは、子どもの発達年齢や季節・行事に合わせてほぼ毎日行った。 ・ボランティアによる読み聞かせは、各園の状況に応じて年数回実施。	・ボランティアによる読み聞かせは、園により頻度のばらつきがある。	・絵本の読み聞かせは、継続する。 ・ボランティアによる読み聞かせは、コロナ禍で中断した園もあるが、再び地域と連携し活用を勧めていく。
9	保育・幼稚園課	園児や未就園児への図書の貸出し	・園児に対して、週1回程度の貸し出しを実施した。 ・未就園児に対して、絵本の貸し出しを実施している園は少ない。	・未就園児に対する絵本貸し出し実施園は少ない。園開放(おひさま広場等)で貸し出しを呼びかけたが、参加者が少なく計画に至らなかった園もある。	・園児に対する絵本貸し出しは、継続する。 ・未就園児に対しては、園開放等で絵本の読み聞かせを取り入れ絵本の紹介をしていく。
10	保育・幼稚園課 市立図書館	園だより等での読書に関する情報提供	【保育・幼稚園課】 ・園だより、クラスだより、絵本だより等で読書に関する情報提供を行った。 【図書館】 ・長野図書館こども読書ニュース「ふれあい」と南部図書館こどもかいだより「おひさま」のデータを毎月保育・幼稚園課を通じて、市内の保育園・幼稚園に配信。 【南部図書館】 ・図書館だより「ハートフルなんぶ」・こどもかいだより「おひさま」を毎月発行。南部の保育施設等を中心にに配布。HPIにも掲載。	【保育幼稚園課】 ・未実施の園がある。 【長野図書館】 ・月毎のテーマ、読み聞かせ行事、新刊児童図書等の情報を掲載した児童向け館報を毎月1回作成・発行し、ホームページに掲載している。 ・保育・幼稚園課を通じて市内の保育園・幼稚園にも配信し、読書活動啓発事業の推進を図っている。 【南部図書館】 ・図書館のイベント情報、新刊本やテーマ本の紹介などを掲載している。	【保育・幼稚園課】 ・親子で絵本が楽しめるように、園だより等や園内に「おすすめ図書」を掲示をする等、保護者に読書に関する情報提供を行う。 【長野図書館】 ・現在の取組を継続して実施する。 ・民間の幼稚園・子育て支援センター、NPOなど、子どもに関する民間機関・団体と連携し、頒布先の拡大を検討する。 【南部図書館】 ・現在の取り組みを継続して実施する。
11	保育・幼稚園課	職員への読み聞かせ等の研修の実施	・各園で年1回程度で研修を実施。	・研修会には、保育担当の職員がいるので、全職員の出席は困難である。	・読み聞かせや絵本の大切さを学び、職員自身が絵本の楽しさを理解して読み聞かせできるように、継続して各園で読み聞かせ等の研修を行う。
12	保育・幼稚園課 市立図書館	市立図書館団体貸出の周知と利用促進	【保育・幼稚園課】 ・園内の掲示板等に市立図書館だよりを掲示し保護者に見てもらえるようにしている。 【長野図書館】 ・保育園・幼稚園向けに専用の団体図書を購入し、団体貸出を行った。 R5団体図書購入冊数:299冊 R5団体図書貸出冊数:4,299冊	【保育・幼稚園課】 ・地域により支所の図書コーナーの貸し出し利用をしている園もある。 ・図書館が近隣にないため、利用の難しさがある。団体利用でなく、個人的に利用している。 【長野図書館】 ・保育園・幼稚園専用の絵本と紙芝居(団体図書蔵書冊数:8,318冊)を1回100冊以内2か月間貸出している。	【保育・幼稚園課】 ・地域の状況に応じて、貸し出し利用を促進していく。引き続き図書館だよりの掲示をしていく。 【長野図書館】 ・利用している保育園・幼稚園が限られているため、更なる周知に努める。
13	保育・幼稚園課	こども広場・地域子育て支援センターでの読み聞かせ会の実施や絵本等の紹介・貸出し	・こども広場では、月1回、地域子育て支援センターでは、年3～4回講師による読み聞かせ会を実施。年間を通して絵本の貸し出し、職員等が読み聞かせや紹介、絵本閲覧コーナーを設置。	・読み聞かせ会は好評で、親子参加が大勢見られる。 ・絵本貸し出し利用も多く、絵本に親しむ姿が見られる。	・親子で親しむ機会を積極的に設けていく。
14	保育・幼稚園課	図書の購入と絵本コーナーの充実	・破損本の修理を行った。破損度合いの激しい本の買い替えや新刊本の購入を行った。	・予算は限られているが、子どもの年齢や興味に合わせて購入している。	・限られた予算を有効活用していく。 ・子どもが絵本に興味を持てるようなコーナー作りをしていく。

第四次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和6年3月末現在					
事業番号	担当所属	事業・取組等	令和5年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
【施策3】学校等における子どもの読書活動の推進					
15	小中学校 市立長野高校	全校一斉読書の実施	小学校 96.2% 中学校 100% 毎日 23校 週2～4回 7校 週1回 24校 読書旬間中 13校 なし 2校 不明 7校	・普段読書することが少ない子も読書ができる。時間になったら声を掛け合い読書を始める姿が見られる。 ・静かに朝読書を行い、落ち着いた雰囲気のまま1時間目に臨める。	・読書旬間などに全校一斉読書を計画するなど、図書委員会と協力して、図書館利用を進める。 ・発達段階に応じた書籍を紹介し、読書内容の向上を目指したい。 ・朝読書が唯一の読書の機会だという児童生徒も多いので、朝読書の質を高められるような活動を行っていく。
16	小中学校 市立長野高校	読書週間・読書旬間の設定	小学校 96.2% 中学校 100% 年1回 30校 年2回 35校 年3回以上 0校 なし 2校 不明 9校	・先生方、校長先生による読み聞かせを実施した。 ・職員のおすすめ本の紹介や読書ビンゴなどを実施し、本に親しむことが出来た。 ・読書旬間やイベントがあると来館者も激増し、大いに盛り上がるが、高学年の来館が伸びない事が課題。	・外部団体による読み聞かせや図書委員・先生方からの読み聞かせのほか、全ての児童生徒が読書への意欲を持てる機会を企画をする。 ・読書旬間や読書関連活動を利用し、読書が好きな子、図書館利用ができる子を増やしていく。 ・高学年の児童に魅力ある企画を計画する。
17	小中学校 市立長野高校	学校図書館の授業での活用の推進	小学校 100% 中学校 100% 週1回 30校 週2～3回 1校 随時 11校 必要に応じて 23校 不明 11校	・週に1時間、クラスで図書館を使える時間を設置しているので、その時間に読書をしたり、調べ学習をしたりして図書館を利用している。 ・中学・高校ともに主に総合的な学習の時間で利用。 ・教科学習での活用を図りたいが、各教科の学習内容や進度が司書教諭や学校司書と共有されていない。	・図書館の活用事例などを紹介するとともに、授業で活用しやすい図書館環境になるよう努める。 ・インターネットと紙媒体での情報検索の方法やアドバイスなどをバランスよく支援していく。 ・年間指導計画を熟読し、図書館を活用できそうな単元については積極的に相談し、共有できるよう努める。
18	学校教育課 小中学校	学校図書館の図書資料の充実	小学校 98.1% 中学校 100%	・図書委員企画でリクエスト本アンケートを利用したり、展示会などを活用して図書選定の機会の充実を図っている。 ・古い資料を除籍しながら図書資料の入れ替えを心がけている。 ・図書標準冊数は満たしているが、分類別の冊数のバランスが課題。	・教科担任等とともに連絡を取り、校内のニーズを把握し、要望に沿った図書・資料の充実を図る。 ・子どもたちの要望と、情報センターとしての図書館の役割とのバランスをとって、本を購入していく。
19	学校教育課 小中学校	推薦図書リストの周知や活用	小学校 94.3% 中学校 100%	・推薦図書リストを参考に推薦図書を購入し、本の紹介コーナーを設置したり、図書館だよりで家庭に周知したりしている。 ・選書の際に判断基準として活用している。	・推薦図書リストを参考にした本の購入、紹介、コーナーの設置の工夫等を継続していく。 ・学校司書と司書教諭が連携し、活動を行っていく。
20	小中学校 学校教育課 市立図書館	市立図書館や県立図書館等の利用・連携	・小学校 77.4% ・中学校 45.5% 【長野図書館】 ・団体貸出(小・中学校) R5:253回、3,036冊 【南部図書館】 ・団体貸出(小学校・中学校) R5:39回、478冊 ・図書館利用を促すため、小学校1年生に図書カード発行申込書を配布した。通明小学校1年生全員に利用者カードを発行した。	【学校教育課】 ・自校図書館の蔵書では足りない資料などを市立図書館から借りられてありがたい。 ・他の学校も学習の時期が同じくらいなので、貸出中で借りられないときもある。 ・本を購入する際の参考にさせてもらっている。 【長野図書館】 ・小中学校への団体貸出、図書の置き置き及び中山間地学校への市連絡車を活用した図書の貸出の実施している。 【南部図書館】 ・市内の小学校・中学校を中心に団体貸出を実施した。 ・貸出回数は増加傾向にある。夏休みに楽しむ児童書という観点から「おすすめ本」リストを作成し、小学校に配布している。 ・近隣の小学校に、図書館まつりで展示する読書感想文(夏休み前)の提出を依頼している。	【学校教育課】 ・公立図書館の企画や情報を参考にし、読書活動の充実を図っていく。 ・図書館を授業で活用できる場面を年間計画として整理し、資料が足りないものについては団体貸出の利用も考えていく。 【長野図書館】 ・利用している学校が限られているため、制度の周知に努める。 【南部図書館】 ・季節ごと、または冬休み・春休みなど子どもの休みに合わせた児童書の「おすすめ本」リストの配布を検討する。
21	教育委員会総務課	校舍改修事業等に伴う学校図書館の整備・充実	・R5長寿命化改修工事(図書室含む) 小学校1校	・学校施設の長寿命化改修に併せて図書室を改修しているが、予算確保等に課題があり、計画どおりに改修を進めることができていない	・引き続き学校施設の長寿命化改修に併せて整備を進める
22	学校教育課	学校図書館の情報化の推進	・県立図書館職員・市立図書館職員と情報センター、学習センターの役割、在り方について検討	・引き続き学校図書館システムの運用、学校間相互貸出しの蔵書検索や図書についての情報共有手段としてシステムの活用を進めていく。	・レファレンスの充実や児童生徒の把握のため、継続してシステムの活用を図っていく。
23	学校教育課	校内読書コーナー等の設置の検討	小学校 90.5% 中学校 78.6%	・季節や行事に合わせて毎月テーマを決めて掲示した。新聞などの掲示も校内で進めている。 ・図書館前の廊下に、図書委員や教員による推薦図書の紹介カードを掲示した。	・各学校の実践事例を参考にするなど、情報共有しながら生徒が興味関心を持つような掲示・展示を促進する。 ・展示をきっかけに幅広い分野に目が向くよう啓発を続けていく。
24	学校教育課	学校図書館の運営に携わる職員の研修機会の充実	・市主催研修会 年4回開催 ・支会別研修会 各年2～3回開催	・学校図書館司書としての役割や実務、資質向上、勤務に関することを目的とした研修会の実施。 ・市主催(教育センター含む)の研修会開催(年3回) ・各支会研修会やワーキンググループの開催。(年2～3回)	・次年度以降も公立図書館との連携や学校司書の資質向上を図っていく。
25	小中学校 学校教育課	家庭での読書推進の呼び掛け	小学校 94.3% 中学校 65.2%	・読書旬間の開始に合わせて学年だよりなどに掲載し呼び掛けているが、各家庭での取り組みに差がみられる。 ・読書旬間中は親子読書カードを配布し、少しでも親子で読書に親しめるように呼び掛けている。	・保護者に対して、学校から子どもの読書の様子を伝えながら、家庭での読書の必要性と読書推進の呼びかけを行っていく。
26	小中学校 学校教育課	ボランティアやPTAによる読み聞かせ・ブックトークの実施	小学校 87.0% 中学校 45.5%	・朝の時間に地域の方による読み聞かせを行っていただいた。 ・普段と違う雰囲気の中で読み聞かせをしていただき、色々な種類の本に触れる事ができ、好評だった。 ・コロナ対策により、しばらく外部からのボランティアを控えていたため、実施ができていない学校もあった。	・地域のお話の会やボランティアの読み聞かせなど積極的にやっていく。 ・学校図書館の運営について周知し、児童生徒に寄り添った活動になるよう連携していく。
27	小中学校 学校教育課	ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーの設置	小学校 88.9% 中学校 100%	・地元の民話・歴史の郷土コーナーの設置 ・オリンピック・パラリンピックに関する本のコーナーを設置。 ・郷土資料関係は児童向けのものが少ない。	・地域学習のコーナーや国際理解のコーナーを充実させ探究的学習を進める。 ・マンネリ化しないように、社会情勢を鑑みながら、コーナーの展示を充実させていく。
28	小中学校 学校教育課	特別な支援を必要とする子どもが利用しやすい学校図書館づくり	小学校 75.5% 中学校 77.3%	・たたみやリーディングループの活用等安心して過ごせる環境を整えている。 ・分類番号に関する絵や文字を工夫し、わかりやすく設置している。	・レイアウトや表示など改善点はないか見直し、誰もが利用しやすい環境を整えていく。
29	小中学校 学校教育課	特別な支援を必要とする子どもを対象とした学校図書館の利用促進	小学校 73.6% 中学校 81.8%	・個々に合わせた選書のアドバイスをを行っている。 ・分類番号に関する絵や文字を工夫し、わかりやすく設置している。 ・児童生徒の様子にあわせて貸出も臨機応変に行っている。	・利用者が大勢いる時間には利用しづらい児童生徒が多いため、時間に配慮しつつ図書館の利用ができるよう検討していく。 ・さまざまな支援が必要な児童生徒に向けて、必要な資料・読書媒体の設置を検討していく。
30	小中学校 学校教育課	特別な支援を必要とする子どもの特性に応じた読書媒体の紹介や利用支援	小学校 62.3% 中学校 56.5%	・文字を見る力の弱い子にはDVDの貸出を行っている。 ・さまざまな児童生徒に対応できる資料を揃える必要がある。	・リーディングトラッカーやリーディングループなど読みに困難を生じる児童生徒に対応するツールを検討していく。 ・特別支援クラスの時間を確保しつつ、児童生徒ごとに必要な支援を行う。
31	小中学校 学校教育課	司書および司書教諭を対象とした図書館における障害者サービスに関する内容理解や支援方法の習得に関する研修の実施	・市主催研修会 年4回開催 ・支会別研修会 各年2～3回開催	・学校図書館司書、司書教諭としての役割や実務、資質向上に関することを目的とした研修会の実施。 ・市主催(教育センター含む)の研修会開催(年3回) ・各支会研修会やワーキンググループの開催。(年2～3回)	・研修を充実させながら、特別な支援を必要とする子どもたちの読書環境の向上を図っていく。
32	こども政策課	ボランティアによる読み聞かせの実施	・アドバイザー活動延べ人数R5:1,092人 ・参加延べ児童数R5:19,910人	・多くの施設で読み聞かせのできるアドバイザーを活用している。	・読み聞かせのできるアドバイザーの活用と周知に努める。
33	こども政策課	推薦図書の周知と図書の充実	・こども家庭庁からの推薦図書等の周知 R5:1回	・こども家庭庁からの推薦図書等を各施設の事業者へ周知している。	・推薦図書等については、国の審議会等で審査されたものであるため、積極的な周知に努める。

第四次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和6年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和5年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
【施策4】市立図書館等における子どもの読書活動の推進					
34	市立図書館	子ども向け行事の実施及び保護者への啓発	【長野図書館】 ・おはなし会R5:143回、参加者3,007人 ・お楽しみ会等 R5:5回、参加者437人 ・親子で楽しむ映画会(試行) R5:2回、参加者82人 ・青空図書館(「緑と花のフェスティバル」出展) 参加者230人 ・「親子わくわくフェスタ2023」に出展 参加者208人 【南部図書館】 ・おはなし会 R5:25回、親子413人 ・こども会 R5:2回、親子190人	【長野図書館】 ・年間を通して、読み聞かせを中心とした子どもに読書の楽しさを伝える各種行事を開催し、保護者への啓発も併せて実施している。 ・「おはなし会カード」を作成してリピーターを増やしている。 ・「緑と花のフェスティバル」や「親子わくわくフェスタ」など図書館外のイベントに参加し、読み聞かせや簡単な工作などを行って図書館のPRをすることができた。 【南部図書館】 ・年間を通じて、読み聞かせを中心とした、子どもに読書の楽しさを伝える各種行事を開催している。 ・広報ながの・生涯学習だより・子ども情報誌「ホリデー」・子育てガイドブック・信毎等各種メディアにおいて図書館で実施されている子ども向け行事を紹介し、保護者への啓発もあわせて実施している。 ・図書館まつりで、近隣の小学校から提出された読書感想文を展示している。	【長野図書館】 ・今後も事業を継続する。 ・夏休み向けに「夜のこわーいおはなし会」や、試行で好評だった「親子で楽しむ映画会」など、新たな行事も実施していく。 【南部図書館】 ・今後も事業を継続する。 ・行事参加者の増加を図るため、ホームページ、広報紙以外にも、SNSなどの各種メディアを活用したイベント開催情報の発信の拡大を検討する。 ・参加者が少ないおはなし会の開催時間や、対象年齢別おはなし会の開催を検討する。
35	市立図書館	ブックリストの作成・配布、ホームページ等での紹介	【長野図書館】 ・事業番号2に同じ。 【南部図書館】 ・児童書の「おすすめの本」リスト配布 R5:600部	【長野図書館】 ・事業番号2に同じ。 【南部図書館】 ・夏休みに楽しむ児童書という観点からリストを作成・配布している。 ・学齢別(0～3歳、幼児、小学校低学年、小学校高学年)の「なんぶとしょかん おすすめ本」リストも作成し図書館内に掲示・配布をしている。 ・リストのホームページなどでの配信はしていない。	【長野図書館】 ・事業番号2に同じ。 【南部図書館】 ・現在の取組を継続して実施する。 ・テーマの見直しを行いながら、引き続きおすすめ本リストを作成し、館内掲示、配布する。 ・ホームページにも掲載し、貸出状況なども確認できるようにする。
36	市立図書館	児童向け図書館だより(こども読書ニュース「ふれあい」・こどもかいだより「おひさま」)の発行・ホームページへの掲載	【長野図書館】 ・長野図書館こども読書ニュース「ふれあい」毎月発行 【南部図書館】 ・こどもかいだより「おひさま」 R5:毎月550部、ホームページ掲載	【長野図書館】 ・館内配布。 ・保育・幼稚園課を通じて、市内の保育園・幼稚園に配信。 ・ホームページ掲載。 【南部図書館】 ・毎月、こどもかいだより「おひさま」をホームページに掲載し、月ごとのテーマ本や新刊本のリストの情報発信をし、子どもの読書活動の啓発事業の推進を図っている。 ・窓口、分室、移動図書館、長野市南部の保育園、小学校等には直接配布(紙媒体(チラシ))し、読書活動の啓発事業の推進を図っている。	【長野図書館】 ・事業番号10に同じ。 【南部図書館】 ・現在の取組を継続して実施する。 ・民間の幼稚園・子育て支援センター、NPOなど、子どもに関する民間機関・団体と連携し、頒布先の拡大を検討する。
37	市立図書館	移動図書館における児童書の充実と貸出し	・移動図書館 児童書貸出冊数 R5:29,653冊	・市内全域(令和6年4月から92ステーション)を巡回している。 ・より効果的な利用を図るため、巡回ステーションごとの貸出冊数、利用者数に基づき、図書館本館及び分室の利用圏域の補充及び巡回のルート設定を考慮し、巡回ステーション・コース・時間の見直しを実施している。 ・新たに購入した本のリストについて、車に掲示している。 ・少子化や両親の就労等により、児童書の貸出冊数は減少傾向にある。	・今後も事業を継続する。 ・より効果的な利用を図るため、巡回ステーション・コース・時間の見直しを図る。 ・立寄った中山間地の支所、公民館等で読み聞かせを行う等、移動図書館がさらに有効活用されるよう検討する。 ・移動図書館でも「おすすめ本リスト」を配布し、車にない本については予約を受け付ける。
38	市立図書館	児童書コーナー「お話しの部屋」・「親子コーナー」の整備・充実	【長野図書館】 ・1階に靴を脱いで自由に利用できるスペースを設置し、子どもと保護者が読書や紙芝居の読み聞かせを行う場所としている。 【南部図書館】 ・「親子コーナー」の一部に、子どもが靴を脱いで利用できるスペースを設置している。子どもと保護者が自由に絵本や紙芝居などの読み聞かせを行う場所、ボランティアによるおはなし会の場所として活用している。 児童書蔵書数R5:115,500冊	【長野図書館】 ・平日のおはなし会は1階「お話しの部屋」で行うが、参加者の多い土・日は3階会議室で実施している。 ・施設の構造上、子ども向けスペースを現状から変えることは難しいため、居心地のよい空間や雰囲気づくりに努めている。 【南部図書館】 ・耐震補強工事に併せ、靴を脱いで利用する部分の面積を増やした。更に児童が手に取りやすいよう書架の配置を見直した。	・現在の取組を継続して実施する。
39	市立図書館	青少年向けの図書を集めたコーナーの整備・充実	【長野図書館】 ・青少年向けの図書を集めた常設コーナーを設置し、図書の購入をしている。 ・年に数回、青少年向けのテーマを決め、本を集めて紹介するコーナーを館内に設置。テーマ本のリストをホームページに掲載。 【南部図書館】 ・ヤングアダルトコーナー(青少年図書コーナー)を設置している。	【長野図書館】 ・背の低い書架上に青少年向けであることが一目でわかるよう黄色のラベルを貼付した図書を設置。 【南部図書館】 ・耐震改修に併せ書架の移動や各種サインの見直しを実施した。	【長野図書館】 ・棚を増設し、より一層の青少年向け図書の充実を図る。 【南部図書館】 ・青少年向けコーナーの資料の充実を図る。 ・推薦図書をホームページで紹介するなど、広報紙及びインターネット等による広報・周知活動を実施する。
40	市立図書館	中学生・高校生による読み聞かせボランティア・職場体験の実施	【長野図書館】 職場体験の受入 R5:高校2校、2人 中学校5校、9人 【南部図書館】※№.92に同じ 職場体験の受入 R5:中学校2校5人、高校1校1人、短大1校1人、小学校教員1校1人	【長野図書館】 ・図書館をより身近に感じてもらえるように、中学生・高校生の職場体験を希望に応じて積極的に受け入れている。 【南部図書館】 ・図書館をより身近に感じてもらえるように、中高校生等の希望に応じて積極的に受け入れている。	【長野図書館】 ・中学校・高等学校と連携し、現在の取組を継続して実施する。 【南部図書館】 ・周辺の中学校・高等学校を中心に現在の取組を継続して実施する。
41	市立図書館	家庭での読書推進の呼び掛け	【長野図書館】 ・事業番号34に同じ。 ・毎月のテーマ本の見直しを行い、絵本のみから物語や実用書などに範囲を広げた。 ・おはなし会で読んだ本コーナーを設置した。	【長野図書館】 ・事業番号34に同じ。 ・家庭で読む本を保護者と子どもが選びやすいよう、毎月のテーマ本を見直し、図書館の入口近くにコーナーを設置した。また、「おはなし会で読んだ絵本」を児童コーナーに並べ、貸出をして家でも読めるようにしている。	【長野図書館】 ・今後も事業を継続する。 ・「家庭読書の日」の設定を検討していく。
42	市立図書館	保護者と子どもが読書に親しむ機会の提供	【長野図書館】 ・事業番号41に同じ 【南部図書館】 ・南部図書館の「赤ちゃんのおはなしかい」では看護師によるベビーマッサージや子育て相談等も併せて行っている。	【長野図書館】 ・事業番号41に同じ 【南部図書館】 ・南部図書館・子どもの集中力が持続する時間はとても短いため、「おはなし会」や「こども会」では、短い時間で、演者を変えたり異なる分野のおはなしを、いくつかするなど子どもが飽きないよう工夫を凝らし実施している。	【長野図書館】 ・事業番号41に同じ 【南部図書館】 ・今後も事業を継続する。
43	市立図書館	障害者ライブラリー(点字図書・録音図書の収集・製作・貸出し)の充実	【長野図書館】 ・貸出数:点字図書1,018タイトル 録音図書2,929タイトル 計3,947タイトル ・利用者数:点字図書897人 録音図書935人 計1,832人	【長野図書館】 ・貸出数・貸出利用者数ともに令和4年度を上回ったものの、令和元年度と比べると、減少傾向にある。	【長野図書館】 ・障害者ライブラリー登録者に毎月発行・送付している「声の魯桃桜」において、新着図書や人気のある図書等、魅力ある図書を紹介することで、貸出数の底上げを図る。
44	市立図書館	アクセシブルな図書等の導入	【長野図書館】 ・令和5年7月から、デジとしょ信州の新サービスである「アクセシブルライブラリー」を開始した。利用登録者数10人。	【長野図書館】 ・スマートフォンやタブレット端末を所有していないと活用できないサービスである。スマホ世代に対して利用を呼び掛ける必要がある。	【長野図書館】 ・視覚障害者に特化したサービスである「アクセシブルライブラリー」の利用登録を継続して呼び掛ける。 ・「デジとしょ信州」の全体会議等で情報及び課題を共有し、利便性の高いサービスを追求していく。
45	市立図書館	特別な支援を必要とする子どもを対象とした市立図書館の利用促進	【長野図書館】 ・団体貸出用図書 R5 8,318冊 ・R5貸出 21施設 6,479冊 【南部図書館】 ・団体貸出実績 R5 1,443冊	【長野図書館】 ・保育園・幼稚園をはじめ放課後デイサービス施設等にも団体貸出を行っている。 【南部図書館】 ・保育園・幼稚園・小中学校をはじめ障害者施設等にも団体貸出を行っている。	・今後も事業を継続する。

第四次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和6年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和5年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
46	市立図書館	特別な支援を必要とする子どもを対象としたアクセシブルな図書等の利用支援	【長野図書館】 ・LLブック 所蔵41冊 ・点字絵本 所蔵34冊 【南部図書館】 ・「あった君」や「ホームページの蔵書検索」により、「点字」「LLブック」等の検索や貸出状況が分かるようにしている。	【長野図書館】 ・障害は人によって様々であり、同じ障害でも支援の仕方が異なる場合がある。支援が必要な子どもに対して個々にアプローチし、必要な環境を整えていく必要がある。	【長野図書館】 ・今後もアクセシブルな図書等の受入を継続していく。 【南部図書館】 ・特別支援学級で使用するができる一般図書に関するリストを作成する。
47	市立図書館	国立国会図書館及びサビエ図書館サービスの周知や利用促進	【長野図書館】 ・サビエ図書館利用数(延べ) ・点字図書 869人、990タイトル ・録音図書 563人、2,419タイトル	【長野図書館】 ・国立国会図書館を含めサビエ図書館の利用はかなり進んでいるが、子どもの利用は少ない。	【長野図書館】 ・現状のとおり、サビエ図書館を有効に活用し、利用者の希望する図書を迅速に提供していく。また、子ども、学校、施設、保護者への情報提供を図っていく。
48	市立図書館	特別な支援を必要とする子どもが利用しやすい図書の製作に係る基準の作成及び環境の整備	【長野図書館】 未整備	【長野図書館】 ・支援を必要とする子どものニーズが幅広いため、国や県において、指針を示してもらう必要がある。	【長野図書館】 ・他の先進図書館などの情報を収集していく。
49	市立図書館	特別な支援を必要とする子どもの特性に応じた読書媒体の紹介や利用支援	【長野・南部図書館】 ・「あった君」や「ホームページの蔵書検索」で「点字図書」「LLブック」等のワードを入力することで検索できるようにし、貸出状況も確認できるようにしている。	【長野図書館】 ・子どもの特性に応じた読書媒体の把握が必要。	【長野図書館】 ・様々な読書媒体や活用例について情報を収集していく。
50	市立図書館	点字図書・録音図書製作ボランティアの人材育成及び資質の向上	【長野図書館】 ・音訳・点訳ボランティアを育成及びスキルアップを図るための5か年計画を策定し、令和6年度の研修内容等について準備を行った。	【長野図書館】 ・点訳ボランティアのスキルアップを目標に、5回の研修会を開催している。	【長野図書館】 ・研修計画に基づき研修を進めていく。
51	市立図書館	図書館における障害者サービスに関する内容理解や支援方法の習得に関する研修の実施及び広報活動の充実	【長野図書館】 ・視覚障害者専用の電子図書館サービス「アクセシブルライブラリー」を開始するに当たり、視覚障害者に対する適切な対応に関して職員研修を行った。	【長野図書館】 ・令和7年に開設30周年の節目を迎えるに当たり、障害者ライブラリーのサービス内容をあらためて周知することにより、利用対象者の増に努める。	【長野図書館】 ・広報ながのやホームページをはじめ、様々な手段で広報活動を進めていく。
52	市立図書館	各種研修への積極的な参加	【長野図書館】 ・図書館司書等の外部研修への参加 R5:16回、のべ32人 ・館主催「読み聞かせ講座(全4回)」への参加 R5:3人 【南部図書館】 ・図書館司書の外部研修への参加 R5:8回19人	・図書館司書がさらに専門的知識を得ることができるよう、県立図書館、長野県図書館協会、北信公共図書館連絡協議会などが主催する研修に積極的に参加した。	・引き続き外部の各種研修会へ参加し、図書館司書としての能力・技術等の研鑽に努める。
53	市立図書館	子ども向け図書の買い換え、資料等の充実	【長野図書館】 ・児童書受入 R5 3,581冊 【南部図書館】 ・児童書受入状況 R5:4,508冊	・良書、名作の整備を目的として、子ども向け図書の計画的な購入や買い換えを実施している。	・今後も、子ども向け図書の計画的な購入や買い換えを実施する。
54	市立図書館	利用者のリクエストへの対応	・図書のリクエストについて、主に新刊図書の選書・購入を通して適切に対応している。	【長野図書館】 ・利用者や読み聞かせボランティアからリクエストを受け、資料収集方針に基づき選書・購入している。 ・当館では児童書リクエストについて、選書基準に適合しているものは全て購入している。 ・購入できなかった図書は他市町村図書館より借受ける。 【南部図書館】 ・子ども、保護者及び読み聞かせボランティア等からのリクエストを受け、資料収集方針に基づき利用者のニーズを考慮しながら選書・購入をしている。 ・所蔵しない資料については相互貸借により他市町村の図書館から借受をしている。	・今後も事業を継続する。 【南部図書館】 ・利用者のニーズによるリクエストへの対応の増加を図るため、ホームページ等によるリクエスト制度の広報・周知活動の実施を検討する。
55	市立図書館	調べ学習に役立つパスファインダーの作成・充実	【長野図書館】 ・ホームページパスファインダー(現時点)本の探し方 1項目 入門編 1項目 夏休み編 29項目	【長野図書館】 ・夏休み前には研究や学習に役立つ子ども向けパスファインダーを図書館ホームページに掲載。情報が古くなったものについては改定を行っている。	【長野図書館】 ・今後も事業を継続する。 ・調べものが増える夏休みの前には毎年テーマを増やしていく。 【南部図書館】 ・当面、実施の予定はないが、改築の議論の中で、調べ学習に役立つパスファインダーの作成・充実に配慮する。
56	市立図書館	ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーの設置	【長野図書館】 ・子ども向けテーマの一部として実施 R5.5 いろいろな国 R5.10 おんがく 【南部図書館】 ・毎月テーマを決め「成人向け」「児童向け」本の紹介をしている。	【長野図書館】 ・毎月「一般向け」「児童向け」及び「青少年向け」「高齢者向け」用を交互に、テーマ本の紹介をしている。 【南部図書館】 ・当該テーマに特化した取り組みは実施していない。	【長野図書館】 ・今後も事業を継続する。 【南部図書館】 ・今後、テーマ本の選定・特設コーナーの設置等について実施を検討する。
57	市立図書館	学校と図書館の協力体制の強化	【長野図書館】 ・小中学校への団体貸出、図書の取り置き及び中山間地学校への市連絡車を活用した図書の貸出の実施。 【南部図書館】 ・小学校図書館に団体貸出を行った。 11校457冊	【長野図書館】 ・窓口となる担当者を決め、学校司書等からの依頼によるレファレンスサービス等、個別の相談に対応している。また、学校司書のワーキンググループ会議に参加し、連携を図っている。	【長野図書館】 ・利用している学校に偏りがあるため、周知に努める。 ・教員や学校司書からの個別の相談には、その都度必要な支援を行う。 ・今後も継続的に関係機関と協議を行い、協力体制の整備について更なる検討をしていく。
58	公民館 交流センター 家庭・地域学びの課	公民館講座等における読み聞かせ等の実施	・公民館講座等において読み聞かせ等を実施した公民館・交流センター R5:22公民館・交流センター	・公民館主催の講座に合わせ、絵本・紙芝居などの読み聞かせを行っている。 ・地区内で対象となる乳幼児の数が減少している。	・公民館利用団体や子育てサークルなどと連携して今後も親子で絵本に触れる機会を作っていく。 ・今後参加者数が減少するようであれば、対象者を変えるなど講座の維持発展ができるように内容の見直しも検討していく。
59	公民館 交流センター 家庭・地域学びの課 市立図書館	図書館分室の整備及び利用促進	【公民館・交流センター】 ・23の公民館・交流センターにおいて、公民館報、交流センターだより、図書だより、ホームページ等で分室の紹介等を行った。 【南部図書館】 ・児童書貸出冊数(分室) R5:23,603冊	【公民館・交流センター】 ・公民館報・交流センターだよりやホームページ等に分室や新規に配本された本の紹介記事を掲載しているほか、本の配置の工夫や読書通帳の発行等により、分室利用促進のための取組を行っている。 ・公民館報・交流センターだよりは紙面にも限られており、分室の十分な内容が記載できていない現状もある。 【南部図書館】 ・図書館分室に新刊本を随時配本し、児童書の充実を図るとともに、分室からの本のリクエスト(予約)による配本、分室での「おはなし会」で用いる本の選書を行っている。	【公民館・交流センター】 ・図書館分室の広報・周知活動を継続して実施する。 ・各館の状況に合わせて図書館分室の利用促進につながる取り組みを検討していく。 【南部図書館】 ・公民館報・交流センターだより等による図書館分室の広報・新刊本の紹介を継続して実施する。 ・子ども向け図書の案内記事の掲載等、子どもの分室利用促進するための取組を検討する。
60	公民館 交流センター 家庭・地域学びの課 市立図書館	図書館分室において、季節や年中行事を意識した絵本の紹介やお薦め本の展示	【公民館・交流センター】 ・季節や年中行事を意識した絵本の紹介やお薦め本等の展示 R5:16分室で実施 【南部図書館(分室・交流センター)】 ・分室職員が企画して、おすすめ本の展示等を行っている。	【公民館・交流センター】 ・季節やテーマに合わせてお薦め本の展示するなどの工夫を行っている。 ・蔵書数や展示スペースが限られており、展示場所の確保が困難な分室もある。 【南部図書館】 全ての分室において統一的に実施することは困難。	【公民館・交流センター】 ・引き続き各分室の状況に合わせ、季節や年中行事を意識するためのテーマ本の選定・展示をする。 【南部図書館】 ・できるだけ多くの分室で実施できるようバックアップ体制の構築に努める。
61	公民館 交流センター 家庭・地域学びの課 市立図書館	ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーの設置	【公民館・交流センター】 ・図書館分室において、郷土の食べ物やその地の歴史に関する図書コーナーを設けた。 R5:13分室で実施 【長野図書館】 ・事業番号56に同じ	・寄贈本を有効活用して地域の歴史について紹介するなど工夫している。 ・蔵書数やスペースが限られており、テーマ本の選定やコーナーの設置が困難な分室もある。 【長野図書館】 ・事業番号56に同じ	・各分室の状況に合わせ、ふるさとや世界各国の文化等に興味がわく、テーマ本の選定・コーナーの設置について検討する。 【長野図書館】 ・事業番号56に同じ
62	公民館 交流センター 家庭・地域学びの課	子育てサークルや子ども読書活動を行うグループへの学習室等の貸出し	・18公民館・交流センターで65団体が登録・活動(令和5年度末現在)している。	・子育てサークルや読み聞かせ団体、子どもの読書活動を行うグループへの学習室の貸出しを行っている。 ・施設によって、乳幼児が利用できる部屋(和室等)や駐車場数等、施設面での制約がある。	・引き続き子育てサークルや読み聞かせ団体、子ども読書活動を行うグループへの学習室貸出しを行っていくと共に、公民館・交流センターの子育て講座終了後の自主的な学習グループ化を支援していく。

第四次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和6年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和5年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
【施策5】子どもを取り巻く環境としてのおとなの読書活動の推進					
63	家庭・地域学びの課 市立図書館	家族の関わりを促進するための啓発活動の実施	【家庭・地域学びの課】 ・親子わくわくフェスタへの市立図書館イベントの参加。 【長野図書館】 ・事業番号34に同じ 【南部図書館】 ・おはなし会 R5:25回、親子413人 ・こども会 R5:2回、親子190人	【家庭・地域学びの課】 ・絵本に関する「ミニ工作」を実施した。 【長野図書館】 ・おはなし会、お楽しみ会等を通じて、家庭での子どもへの読み聞かせや、本や人とふれあうことの重要性を啓発している。 【南部図書館】 ・「おはなし会」や「お楽しみ会」の実施のほか、「親子わくわくフェスタ」で配布したブックリスト作成に協力し、親子が触れ合う機会の提供を通じて、読書の楽しさや重要性を伝えている。	・現在の取組を継続して実施する。 【南部図書館】 ・参加者が少ないおはなし会の開催時間については検討して時間を変更したため、様子を見ていく。 ・有線放送でのテーマ本紹介に「家族」をテーマに取り上げたり、「家族関係」のテーマ本コーナーを設けるなど「家族の関わりを促進するための啓発活動」のありようを検討し、実施を図る。 ・「あかちゃんのおはなし会」において、NPO、合同会社等と連携し、おひざで絵本事業とタイアップした「家族の関わりを促進するための啓発活動」の推進を検討していく。
64	家庭・地域学びの課	[再掲]長野市家庭の日における読書の奨励			
65	市立図書館 学校教育課	保護者と子どもが読書に親しむ機会の提供	【長野図書館】 ・事業番号42に同じ 【学校教育課】 小学校 71.7% 中学校 43.5%	【長野図書館】 ・事業番号42に同じ 【学校教育課】 ・家庭での読書の時間が取れるよう読書旬間に家族カードを配布し、家族読書を実施している。 ・さまざまな児童生徒に対応できる資料を揃える必要がある。	【長野図書館】 ・事業番号42に同じ 【学校教育課】 ・家族で読書に親しめるようにするため、図書館だより等を通して働きかけていく。
66	市立図書館	図書館における企画展示等の実施	【長野図書館】 テーマ本展示 ・一般向け:「歩く・走る」ほか10回 ・児童向け:「スポーツを楽しもう」ほか9回 ・青少年向け:「すごい本」ほか1回 ・高齢者向け:「どうする、古い本の活用」ほか3回 ・随時テーマ:「手話」ほか1回 【南部図書館】 「テーマ本」の展示には、成人向けテーマの他、児童向けとして(親子で本に親しむ内容)テーマとして必ず設け、子ども向けだけでなく、親子で読んだり一緒に考えられる本なども展示している。	【長野図書館】 毎月テーマを決めてテーマに沿った本を集め、テーマ本コーナーを作っている。 「自殺防止」や「手話」など他課や外部の団体とも連携しながら随時テーマ本コーナーでの展示も行っている。 【南部図書館】 児童向けテーマ本として、引き続き親子で親しめる本の展示を行っていく。	【長野図書館】 ・今後も図書の展示のみならず、利用者の興味を惹く企画展について検討していく。 【南部図書館】 引き続き親子で親しめるテーマ本の展示を行っていく。
67	家庭・地域学びの課	図書館分館における企画展示等の実施	【公民館・交流センター】 ・図書館分館における企画展示等の実施 R5:18分室で実施	・月間に合わせた本の紹介や、子供たち向けの企画、年間の貸出図書ランキングの作成等、各施設で工夫して興味を引く企画展示等を行っている。	・引き続き各館の状況に合わせて、図書館分室における企画展示を検討していく。
68	家庭・地域学びの課 市立図書館	おとな向けブックリストの作成とICTを活用した周知	【長野図書館】 ・館報「魯桃桜」で新刊の紹介 ・ホームページで新刊やテーマ本の紹介 【南部図書館】 ・毎月発行の図書館だより「ハートフルなんぶ」内で新刊本を紹介している。また、月のテーマ本についても紹介記事を掲載し、利用者に広く興味を持ってもらえるよう努めている。ホームページにもテーマ本のリストを掲載。	【長野図書館】 ・毎月発行の館報「魯桃桜」内で新刊紹介している。また、月のテーマ本についても紹介記事を掲載し、利用者に広く興味を持ってもらえるよう努めている。ホームページにもテーマ本のリストを掲載。 【南部図書館】 ・図書館だより「ハートフルなんぶ」とは別にこどもかいだより「おひさま」も毎月発行。	・今後も事業を継続する。 【長野図書館】 ・一般書のブックリストも作成していく。
69	市立図書館	おとなが読書に親しむきっかけとして朗読CDの周知と貸出	【長野図書館】 ・R5 文学CD(カセット含む)の貸出:1,847枚	【長野図書館】 ・音楽CDほど周知されていないが、一定程度の貸出がある。	【長野図書館】 ・館報「魯桃桜」のトップ記事等で周知を図っていく。
70	市立図書館	おとなのためのおはなし会など、おとな向けの読書推進イベントの実施	【長野図書館】 ・大人のためのお話し会 R5:2回、参加者49人	【長野図書館】 ・ボランティアの協力を得て令和3年度から大人が楽しめる絵本のお話し会を実施している。	【長野図書館】 ・絵本の読み聞かせだけでなく、素語りなど様々な大人のためのお話し会を実施していく。
【施策6】電子図書の導入と読書バリアフリー法に基づく読書環境整備の推進					
71	市立図書館	図書館におけるアクセシブルな児童書の充実	【長野図書館】 ・事業番号44に同じ 【南部図書館】 ・南部図書館では点字の児童書について、手の取りやすいところにまとめて配架している。	【長野図書館】 ・事業番号44に同じ 【南部図書館】 ・「LLブック」についても配架しているが、分類別に配架され、児童書として探しにくい場合がある。 ・あった君等で配架場所を検索できるようにしている。	【長野図書館】 ・事業番号44に同じ 【南部図書館】 ・LLブック(類した本も含めた)などのアクセシブルな図書のリストを新たに作成し配布できるようにする。
72	市立図書館	電子図書等の周知と利用促進	【南部図書館】 ・館内掲示や利用案内、ホームページ等により電子図書館等の利用について周知している。	【南部図書館】 ・館内掲示や利用案内、ホームページ等により電子図書館について周知を行っている。	【南部図書館】 ・館内掲示や利用案内、ホームページ等により電子図書館について、更に周知を行っていく。
73	学校教育課 市立図書館	一人一台端末を活用した電子図書の利用推進	【学校教育課】 ・利用実施校 小学校2校 中学校0校 【長野図書館】 ・R5:小学校1校、1学年「デジとしよ信州」登録 【南部図書館】 ・学校からの申し出により、学校・学年全体で利用登録等個別に行っている。	【学校教育課】 ・学校における電子図書の活用について、市立図書館と検討中。ニーズのあるところから利用申請を行っているが、受け入れ体制も十分でないことから現状では少数にとどまっている。 【長野図書館】 ・まだ登録を希望する学校が少ない。 【南部図書館】 ・学校司書や教員向けに授業等における電子図書館利用方法等の研修など行う必要がある。	【学校教育課】 ・市立図書館と連携し、より一層の利用促進を図っていく。 【南部図書館】 ・学校司書や教員向けに授業等における電子図書館利用方法等の研修会などの開催を学校教育課と連携し進めていく
74	学校教育課 市立図書館	子どもにとって使いやすく、コンテンツの充実した電子図書の研究	【学校教育課】 ・市立図書館と連携し、研究中 【南部図書館】 ・県と市町村が協働し「選書委員会」を開催し選書を行っている。	【学校教育課】 ・学校における電子図書の活用について、市立図書館と検討中。 【南部図書館】 ・「選書委員会」において、必要な図書について提案を行っている。	【学校教育課】 ・市立図書館と連携し、子どもにとって 使いやすく、コンテンツの充実した 電子図書の研究を 継続的に行っていく。 【南部図書館】 ・「選書委員会」において、必要な図書について引き続き提案を行う。
75	市立図書館	[再掲]点字図書・録音図書製作ボランティアの人材育成及び資質の向上			
76	小中学校 学校教育課	[再掲]特別な支援を必要とする子どもが利用しやすい学校図書づくり			
77	小中学校 学校教育課	[再掲]特別な支援を必要とする子どもを対象とした学校図書館の利用促進			
78	小中学校 学校教育課	[再掲]特別な支援を必要とする子どもの特性に応じた読書媒体の紹介や利用支援			
79	小中学校 学校教育課	[再掲]司書および司書教諭を対象とした図書館における障害者サービスに関する内容理解や支援方法の習得に関する研修の実施			
80	市立図書館	[再掲]障害者ライブラリー(点字図書・録音図書の収集・製作・貸出し)の充実			
81	市立図書館	[再掲]アクセシブルな図書等の導入			
82	市立図書館	[再掲]特別な支援を必要とする子どもを対象とした市立図書館の利用促進			
83	市立図書館	[再掲]特別な支援を必要とする子どもを対象としたアクセシブルな図書等の利用支援			
84	市立図書館	[再掲]国立国会図書館およびサビエ図書館サービスの周知や利用促進			
85	市立図書館	[再掲]特別な支援を必要とする子どもが利用しやすい図書の製作に係る基準の作成及び環境の整備			
86	市立図書館	[再掲]特別な支援を必要とする子どもの特性に応じた読書媒体の紹介や利用支援			
87	市立図書館	[再掲]点字図書・録音図書製作ボランティアの人材育成及び資質の向上			
88	市立図書館	[再掲]図書館における障害者サービスに関する内容理解や支援方法の習得に関する研修の実施及び広報活動の充実			
89	障害福祉課	アクセシブルな電子図書等を利用するための端末機器等の給付	【支給件数】 ・視覚障害者用ポータブルレコーダー:7件 ・視覚障害者用読書器:10件 ※18歳未満の方の申請はいずれも0件	・視覚障害者用読書器は盲学校でも利用されている。家庭では視覚障害者用の機器を使用しなくても、個人の状態や希望に応じて、読み聞かせや、一般的なDVD等の音声を利用するなどの方法で情報を得ていると考えられる。	・引き続き障害福祉サービスガイド、市ホームページで制度の周知を行い、給付対象となる方からの申請があった場合には支給をしていく。

第四次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和6年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和5年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
【施策7】関係機関の連携と普及啓発の推進					
90	家庭・地域学びの課 市立図書館 学校教育課	庁内関係機関の連携	【長野図書館】 ・事業番号20に同じ。	【長野図書館】 ・事業番号20に同じ。	【長野図書館】 ・事業番号20に同じ。
91	市立図書館	リサイクル図書の有効活用	【長野図書館】 ・全庁向け事前配布を実施:10所属 ・R5 利用者向けリサイクル市の開催:268人 【南部図書館】 ・「南部図書館まつり」の際にリサイクル本の配布を行った。	【長野図書館】 ・R5に初めて「除籍本等リサイクル市」に先立ち、全庁向けに公用・公共用に使用する本の配布を実施した。 【南部図書館】 ・南部図書館で不要となった本をリサイクル本として児童館等、学校、公民館、保育園など市の施設及び関係施設を中心に配付することにより、市の施設及び関係施設全体での図書の充実(有効活用)を図っている。	【長野図書館】 ・今後も「リサイクル市」及び、事前配布を実施していく。 【南部図書館】 ・今後も事業を継続する。 ・小学生対象のリサイクル図書が出た場合は、児童館等、学校、公民館、保育園など市の施設及び関係施設への周知配布について検討する。
92	市立図書館 学校教育課 小中学校	児童・生徒の図書館見学・体験の実施	【学校教育課】 ・公立図書館へ地域や教科の学習、社会見学、遠足行事として実施。 【長野図書館】 ・職場体験 中学生5校・9人 ・見学 小学校3校・131人 【南部図書館】 ・職場体験の受入 R5:中学校2校5人、高校1校1人、短大1校1人、小学校教員1校1人	【学校教育課】 ・学校から公立図書館まで遠距離であり、交通手段の確保が難しかったため、社会見学等でも入れにくい。 【長野図書館】 ・図書館をより身近に感じてもらえるように、希望に応じて積極的に受け入れている。 【南部図書館】 ・児童についての図書館見学・体験等は実施していない。	・今後も事業を継続。 【学校教育課】 ・児童の公共図書館の将来的な利用を見据え、学校図書館とは違った設置意義を知るために、公共図書館の見学・体験ができるよう検討していく。 ・今後も継続的に関係機関と協議を行い、支援体制の整備について更なる検討をしていく。 【南部図書館】 ・篠ノ井地区の小中学校等と連携し、図書館見学の実施を検討していく。
93	市立図書館 学校教育課 小中学校	学校図書館に関する相談体制の整備	【長野図書館】 ・R5 相談件数 1件 【学校教育課】 ・支会研修等において市立図書館との連携の機会を持つことができた。	【長野図書館】 ・事業番号57に同じ。 【南部図書館】 ・市立図書館で対応できることは限定的ではあるが、対応できるものについては、実施している。 【学校教育課】 ・支会研修等を通して、学校司書がどのような支援を必要としているか伝えることができた。 ・市立図書館の相談窓口となる担当者が明確であると学校司書が相談しやすい。	【長野図書館】 ・事業番号57に同じ。 【南部図書館】 ・教員や学校司書からの個別の相談には、その都度必要な支援を行う。 ・今後も継続的に関係機関と協議を行い、支援体制の整備について更なる検討をしていく。 【学校教育課】 ・今後も市立図書館と連携し、様々な情報を発信していく。 ・学校司書の抱えている疑問や課題等を共有できる体制を維持していく。
94	市立図書館	読み聞かせボランティア等養成講座の開催	【長野図書館】 「読み聞かせ講座」 ・初心者講座 26人受講 ・中級講座 21人受講 【南部図書館】 ・読み聞かせ上級者講座 R5:15人	【長野図書館】 ・読み聞かせボランティア育成のため、「読み聞かせ講座」を実施し、新たに2つの読み聞かせグループができて令和6年度のお話を担当している。 【南部図書館】 ・「読み聞かせ初心者講座」として、「読み聞かせ入門コース(読み聞かせの基礎の習得)」と「読み聞かせボランティア入門コース(ボランティア活動の基礎知識・技術の習得)」を令和6年度実施予定。 ・ボランティア団体等が読み聞かせ活動するための困りごとなどについて司書が相談に応じている。	【長野図書館】 ・今後も事業を継続し新たなボランティアの育成を図る。 【南部図書館】 受講者の増加を図るため、各種メディアを活用した講座開催情報の配信の拡大を検討する。
95	家庭・地域学びの課 市立図書館	出版社や書店などの企業との連携・協力によるイベントや読書に親しむ企画等の実施	【長野図書館】 ・出版社の許可を得て絵本を拡大・映写し、生の演奏を加えた「大人のためのお話会」を実施	【長野図書館】 ・出版社から著作権の許可を得て、普段のおはなし会とは違うイベントを実施している。	・文科省から公開された「図書館・書店等の連携事例集(令和6年6月)」などを参考に企画を検討していく。
96	家庭・地域学びの課	ICTを活用した子ども読書活動の啓発	・ホームページ及び長野市子育て応援アプリ「すくすくなび」を利用しておひぎで絵本事業の紹介を行った。	・現在は、ホームページ等の活用のみに留まっているため、新たな広報媒体での情報発信等を検討する必要がある。	・配信内容を検討しながら、今後も取組を継続する。
97	家庭・地域学びの課	長野市子ども読書デーの周知と啓発活動の実施	・長野市子ども読書デー関連イベントとして、親子わくわくフェスタにおいて、市立図書館司書のおすすめ本パンフレットを配布した。 ・広報及び市政ラジオによる啓発活動を行った。	・「親子わくわくフェスタ」に合わせ、長野市子ども読書デー関連イベントを企画・実施している。	・市民のニーズに合致し、かつ、読書の楽しさを伝える取り組みとしてより効果的なイベントを検討し、引き続き実施する。 ・ICTを活用し、子ども読書デーの啓発や関連イベントの周知を積極的に行っていく。
98	家庭・地域学びの課 市立図書館	「こどもの読書週間」における啓発活動の実施	【家庭・地域学びの課】 ・啓発用ポスターを小・中学校、公民館、保育園等へ配布した。 【長野図書館】 ・子ども向けおすすめの本紹介冊子「すてきな大人になれる本」作成、配布 ・なのはなお楽しみ会(パネルシアター、大型絵本、紙芝居)の開催 ・手作りしおりの配布 【南部図書館】 ・たんぼぼこども会(5/14)	【長野図書館】 ・読書週間に合わせておすすめの本紹介冊子を毎年2回作成し配布している ・こどもの読書週間に「なのはなお楽しみ会」開催。 ・毎年、期間中に手作りのしおりなどを用意してカウンターで配布。 【南部図書館】 ・子ども読書週間(子ども読書の日)事業として、毎年、5月上旬に「たんぼぼこども会」を開催し、「こどもの読書週間」の啓発用ポスターの掲示と共に、子どもの読書の啓発活動と読書活動の推進を図っている。	・今後も事業を継続し、本や図書館をより身近に感じてもらうよう努める。 【南部図書館】 ・イベント参加者の増加を図るため、ホームページ、広報紙等以外にも、SNS、スマートフォンアプリ、Webサイト、フリーペーパー、行政情報モニタなどの各種メディアを活用したイベント開催情報の発信の拡大を実施する。
99	家庭・地域学びの課	読書活動推進イメージキャラクターの活用	・ホームページ、ブックリスト等に掲載している。 ・BOOKロウのしおりを作成し、長野市子ども読書デー関連イベントで配布した。	・ホームページやブックリスト等において、積極的にキャラクターを使用し周知を図っている。	・引き続き従来の方法による啓発活動を実施するとともに、キャラクターの新たな使用方法を検討する。